Panasonic®

フル2線式リモコン 画像センサ付自動スイッチ

施工説明書

（光アドレス設定式）（天井取付形）

品番 WRT3470

WRT3470

施工店様へのお願い
- ●施工前に必ずこの説明書をお読みください。
- ●お客様に商品説明をしていただき、必ず施工説明書をお渡しください。

お客様へのお願い
- ●修理・お取扱い・お手入れなどのご相談は、施工された施工店にご連絡ください。

安全上のご注意　■必ずお守りください

⚠警告

必ず守る	●取り付け・取りはずし時などは足場を確保し、安全に作業できるよう注意する。 守らないと、転倒・落下してケガをするおそれがあります。 ●下に人がいないことを確認して作業をする。 作業時の落下物によるケガのおそれがあります。 ●商品本体を確実に固定する。 商品が落下し、ケガや他の物品を破損する原因となります。
禁止	●照明・換気扇以外の負荷機器（電動機器、空調機器など）の制御には使用しない。 誤動作によるケガや事故の原因となります。 ●修理や分解・改造をしない 感電・火災の原因となります。

⚠注意

禁止	●通電中は端子に触れない。 感電のおそれがあります。

付属品　●施工説明書（本紙）……1枚

施工上のご注意

- ●信号端子に異種の電線を接続しないでください。
  接続不良により、正常に動作しないことがあります。
- ●端子ネジは必要以上に締め付けないでください。
  変形や破損の原因になります。【適正トルク：0.5 N・m～1.0 N・m】
- ●ボックスネジ、取付ネジは、必要以上に締め付けないでください。
  変形や破損の原因になります。【適正トルク：0.4 N・m】
- ●活線工事は行わないでください。
  不動作や誤動作の原因になります。
- ●センサ部に過剰な衝撃を加えないでください。
  ひびなどがはいり、破損する場合があります。
- ●施工前に「検知できる範囲」を参照し、取付位置を決めてください。
- ●商品本体に向けて水をかけないでください。故障の原因となります。
- ●蛍光灯や電球形蛍光灯は頻繁に点滅を繰り返すとランプ寿命が短くなるものがあります。
  点滅回数の多い場所でお使いの場合は、LED器具をご選定ください。
- ●グループ制御にてON/OFFする場合、壁スイッチなどでグループ内回路の間引き点灯などを行うと、グループスイッチの状態と実際の照明の状態が異なり、正常に動作しない場合があります。
  グループ内回路の間引き点灯などを行う場合はパターン制御にてご使用ください。
- ●アドレスをグループに設定した場合、グループの表示状態により人を検知してもON信号が出ない場合があります。
  その場合は、表示OFF（緑）になってから、動作チェックを行ってください。
  またグループの表示とリレーの状態が一致しない（間引き点灯などの）場合は、一度検知エリアの外に出てから動作チェックを行ってください。

使用上のご注意

- ●周囲照度が使用周囲照度より低くならないよう設置・設定してください。
- ●電源投入後・停電復帰後、約10秒間は動作しません。
- ●設定確認・変更時、設定器からの信号を10秒間受信しなければ、再起動動作を行います。
- ●本器の汚れは、乾いた布で軽くふき取ってください。
  シンナーなどを使用すると、変色したり表面の光沢が損なわれる場合があります。
  センサ部に過剰な衝撃を加えると、破損する場合があります。

設置上のご注意

■画像センサは、背景とコントラスト差のある物体の動きを検出します。（人物かどうかを判断して検知するものではありません。）

- ●人物と背景のコントラスト差が得られない場合は、検知できません。
- ※背景と人物の服が同じ色であっても、光の当たり具合により陰影ができるため、検知できることもあります。
- ●まったく動きがない（完全に静止した）場合は、完全静止時保持時間（初期値：2分）が経過すると不在と判定し、不在検出時制御アドレスが制御されます。
- ●エリア全体の明るさが大きく変化したときは、検知対象を一旦リセットし、明るさが安定するまで物体を検知することができません。明るさが安定した後に全く動きがなければ、不在と判定され、不在検出時制御アドレスが制御されます。

■次のような場所には取り付けないでください。（検知しなかったり、誤動作の原因となります。）

検出できない場所　人がいるのに点灯しなかったり、消灯してしまったりする場合があります。

- ●検知エリア内に遮へい物があるところ
  パーテーション、机の下など、動きが見えないところは検知できません。

誤動作しやすい場所　人がいないのに点灯したり、人がいなくなっても消灯が遅延したり、消灯しない場合があります。

検知エリア内に動くものがあるところ

風で動くもの（植物、カーテン）、動物（犬、猫など）、虫（商品本体直近）、扇風機（首降り）、掃除ロボット、モニタ（画面）の動作などの動きを検知する場合があります。

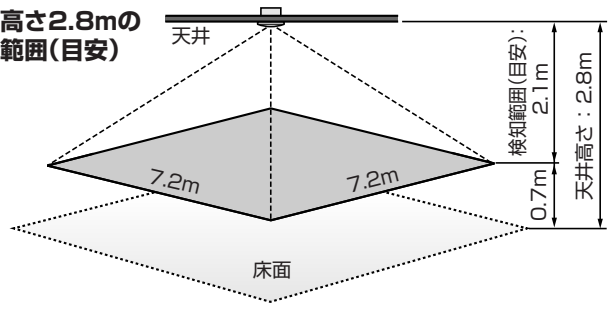
光や反射による影響があるところ

●直射光・反射光の当たるところ	太陽光や夜間の自動車のヘッドライトによる光の変化や、人や物の影の動きを、検知する場合があります。
●光を発生させるものがあるところ	間接照明、機器の表示部の点灯や点滅などの光の変化を検知する場合があります。
●反射の影響を受けるところ	検知エリア内に鏡など反射するものがあると、検知エリア外の動くものを検知する場合があります。

振動や衝撃の影響を受けるところ　検知対象に対して、商品本体が揺れると、止まっているものを動いているものと認識して誤検知する場合があります。

検知できる範囲

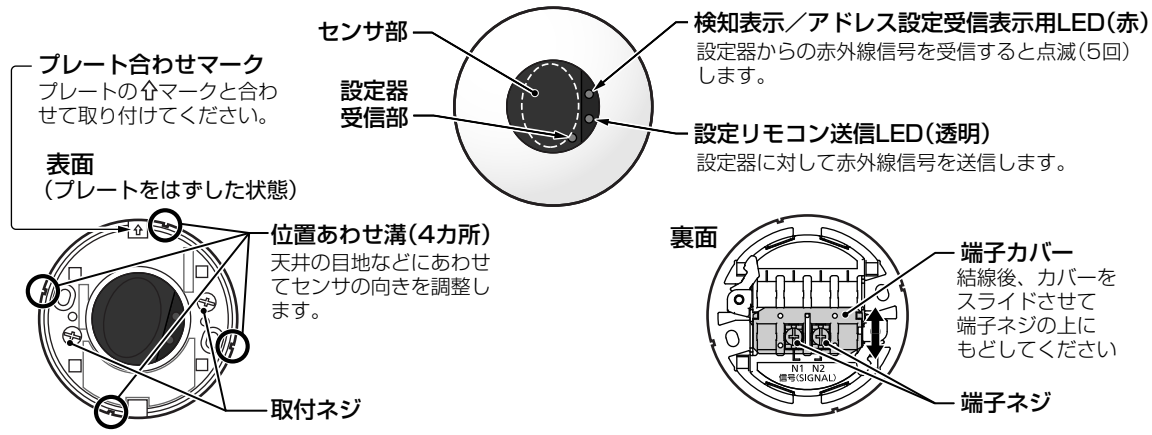
●下図は天井高さ2.8mの場合の検知範囲（目安）



■検知エリアについて

天井高さ（m）	検知エリア（m）（床面から0.7m）
2.4	5.8×5.8
2.8	7.2×7.2
3.0	7.9×7.9

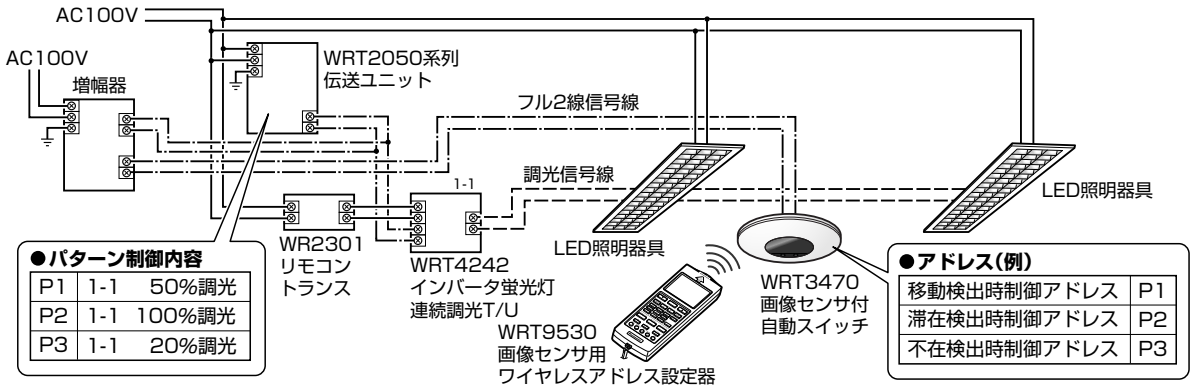
各部のなまえとはたらき



配　線　例

●アドレスの用語については、画像センサ用ワイヤレスアドレス設定器に付属の取扱説明書の「用語の説明」を参照してください。

■例1



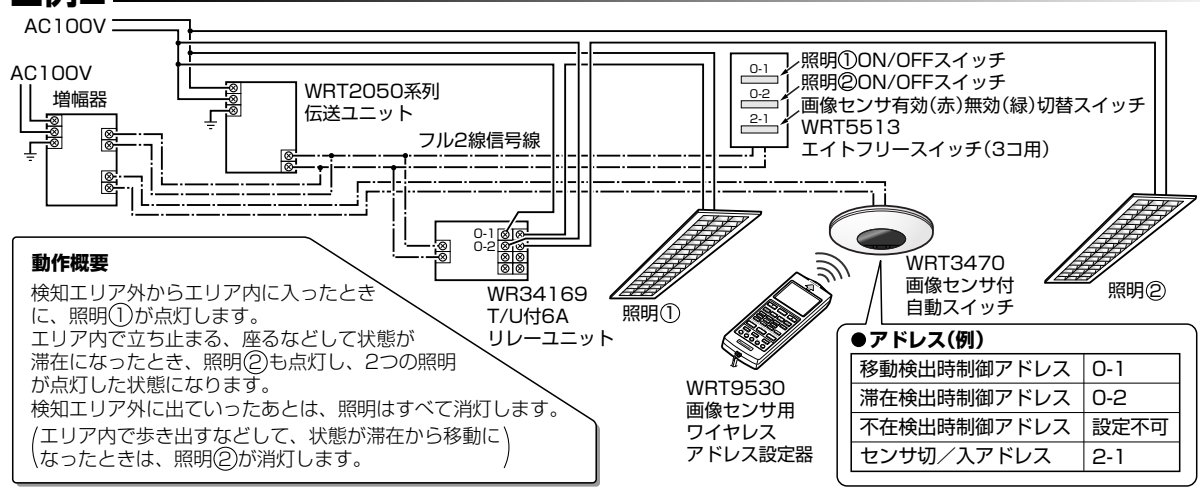
●パターン制御内容

P1	1-1	50%調光
P2	1-1	100%調光
P3	1-1	20%調光

●アドレス（例）

移動検出時制御アドレス	P1
滞在検出時制御アドレス	P2
不在検出時制御アドレス	P3

■例2



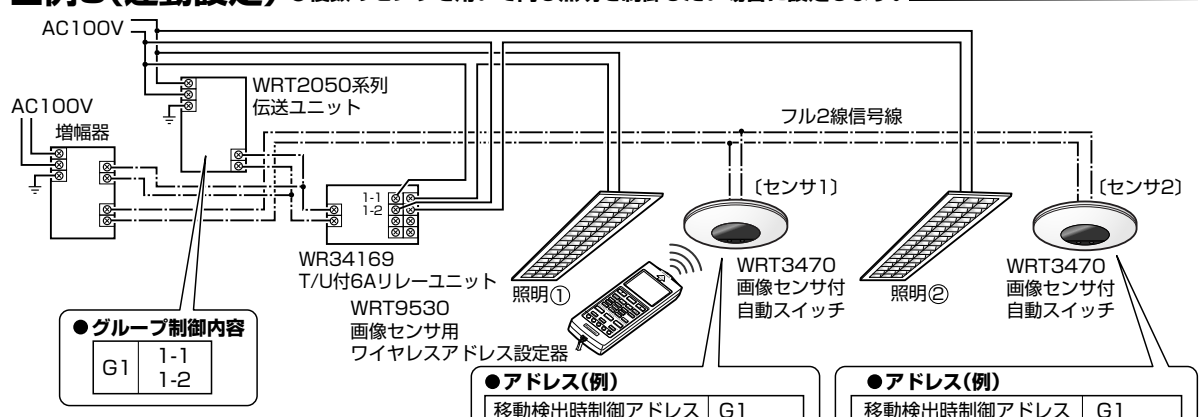
動作概要

検知エリア外からエリア内に入ったときに、照明①が点灯します。
エリア内で立ち止まる、座るなどして状態が滞在になったとき、照明②も点灯し、2つの照明が点灯した状態になります。
検知エリア外に出ていったあとは、照明はすべて消灯します。
（エリア内で歩き出すなどして、状態が滞在から移動になったときは、照明②が消灯します。）

●アドレス（例）

移動検出時制御アドレス	0-1
滞在検出時制御アドレス	0-2
不在検出時制御アドレス	設定不可
センサ切／入アドレス	2-1

■例3（連動設定）　●複数のセンサを用いて同じ照明を制御したい場合に設定します。



●グループ制御内容

G1	1-1 1-2

動作概要

検知エリア外からセンサ1またはセンサ2のエリア内に入ったときに、照明①②が点灯します。センサ1、センサ2ともに検知エリア外に出たあと、照明①②が消灯します。
（エリア内で、動きの状態が変わっても点灯状態は変化しません。）

●アドレス（例）

移動検出時制御アドレス	G1
滞在検出時制御アドレス	設定不可
不在検出時制御アドレス	設定不可

●連動アドレス（例）

開始アドレス	10-1
終了アドレス	10-2
センサアドレス	10-1

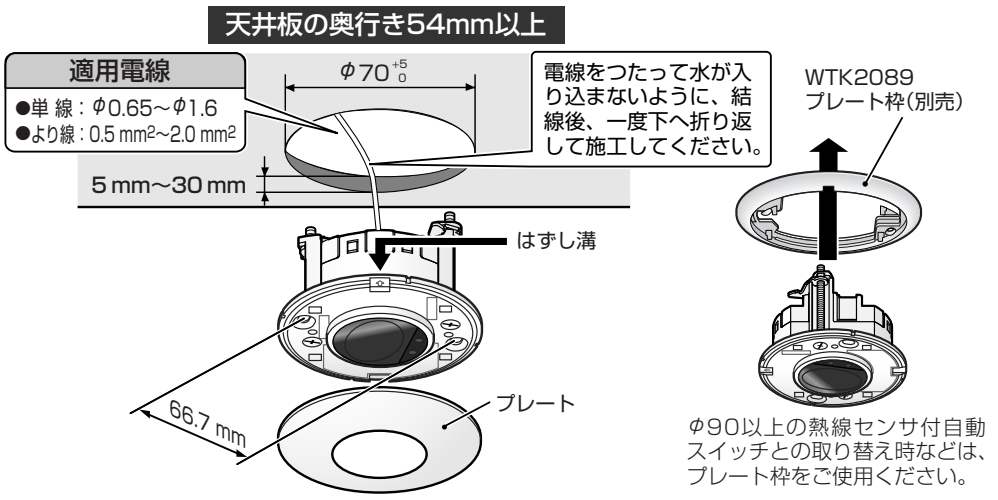
●アドレス（例）

移動検出時制御アドレス	G1
滞在検出時制御アドレス	設定不可
不在検出時制御アドレス	設定不可

●連動アドレス（例）

開始アドレス	10-1
終了アドレス	10-2
センサアドレス	10-2

取付方法



適合ボックス

※ボックス工事の場合下記ボックスをご使用ください
- ●中形四角アウトレットボックスまたはコンクリートボックス 丸孔カバー付深さ54mm以上
- ●八角アウトレットボックスまたはコンクリートボックス 丸孔カバー付深さ54mm以上
- ●プレキャストコンクリート用八角アウトレットボックスまたはコンクリートボックス

■故障かな？と思ったら

●接続しているフル2線リモコンのカタログ・技術マニュアルなどにしたがって動作の確認を行ってください。異常がある場合には下記にしたがって処置してください。下記の処置で異常が解決しない場合は当社へお問い合わせください。

状　態	点　検	処　置
●全く動作しない。 ●表示LEDが点滅しない。	正しく接続されていますか？ ●伝送ユニットと正しく接続されていない場合があります。 ●フル2線信号線を接続していますか？	➡配線例を参考に正しく接続してください。 ➡フル2線信号線を接続してください。
	システムの電源は入っていますか？	➡伝送ユニット(増幅器)の電源を確認してください。
	センサ切／入スイッチが「切」に設定されていませんか？	➡センサ切／入スイッチを「入」に設定してください。
	アドレスが正しく設定されていますか？	➡設定器の取扱説明書にしたがって適切に設定してください。
●電源が入っているのに動作しない。 ●照明が制御されない。	部屋が明るさレベルの設定値より明るくありませんか？	➡明るさレベルを適切な値に設定してください。 (設定器の取扱説明書を参照)
●設定器で設定できない。	専用の設定器で設定していますか？	➡画像センサ用ワイヤレスアドレス設定器(WRT9530)(別売)で設定してください。
	設定器は正しくセンサの方向へ向けていますか？	➡操作可能範囲の条件を満たすよう設定器をセンサへ向けてください。
●人がいるのに検知しない。または、ときどき検知しない。	検知エリアに障害物はありませんか？	➡障害物を取り除いてください。 (設置上のご注意(表面)を参照)
	センサ部がホコリや水滴で汚れていませんか？	➡柔らかい乾いた布で軽くふいてください。
●人がいるのに照明が消えてしまう。	完全静止時保持時間以上、静止していませんか？　※1	➡完全静止時保持時間を適切な値に設定してください。(設定器の取扱説明書を参照)　※1
●人がいないのに検知する。 ●人がいなくなってから照明が消えるのが遅い。	検知エリア内になにか動くものがありませんか？	➡「設置上のご注意」(表面)を参照し、原因となるものを取り除いてください。もしくは、エリア設定で検知対象を無効にしてください。
	検知エリア内のモニタ(画面)で映像が動いたりしていませんか？	➡人がいない場合はモニタ(画面)を切ってください。
	太陽光や夜間の自動車のヘッドライトによる光の変化や、人や物の影の動きが、検知エリア内で発生していませんか？	➡光や影が入らないようにするか、検知エリアを設定してください。 (設定器の取扱説明書を参照)
●検知エリアがずれている。	センサが傾いていませんか？	➡センサを水平に取り付けてください。

※1：用語については画像センサ用ワイヤレスアドレス設定器に付属の取扱説明書の「用語の説明」を参照してください。

■定格・仕様

定格

定格入力信号電圧	±24 V
定格信号消費電流	50 mA

仕様

最大接続数　※1	8台
取付高さ	2.4 m～3.0 m
適用電線	●単線：φ0.65～φ1.6　●より線：0.5 mm²～2.0 mm²
適合ユニット	●WRT2050系列　伝送ユニット　●FreeFit系列　※2 ●WR3913系列　増幅器
設定アドレス	●移動検出時制御アドレス：P1～P72、個別0-1～個別63-4、G1～G127 ●滞在検出時制御アドレス：P1～P72、個別0-1～個別63-4、G1～G127 ●不在検出時制御アドレス：P1～P72　※3 ●センサ切／入アドレス：個別0-1～個別63-4
保持時間設定	●不在時保持時間：1秒～59秒(1秒ステップ)、1分～30分(1分ステップ)(初期値：30秒) ●移動開始時保持時間：1秒～59秒(1秒ステップ)、1分～30分(1分ステップ)(初期値：30秒) ●完全静止時保持時間：1秒～59秒(1秒ステップ)、1分～30分(1分ステップ)(初期値：2分)
明るさ設定 ※4	クリア、レベル1(5 lx相当)～レベル9(1000 lx相当)(9段階)(初期値：クリア　※5)
連動設定	●連動数：最大12台まで ●アドレス範囲：開始アドレス、終了アドレス、センサアドレスとも個別0-1～個別63-4
検知エリア設定範囲	●簡易モード：5パターン ●詳細モード：中心の4ブロックを除く60ブロックを検知エリア/非検知エリアに任意設定 ●1ブロックの大きさは、天井高さ2.8 mにおいて約0.9 m×0.9 m
検知動作速度	0.3 m/s～1.0 m/s
使用周囲温度	−10 ℃～+40 ℃
使用周囲照度	20 lx～10,000 lx

※1：他の機器を接続しない増幅器による専用配線(φ1.2～φ1.6、1.25 mm²～2.0 mm²)の場合
※2：FreeFit系列では、グループアドレスは1～127のみ使用可能です。また、連動設定には対応していません。
※3：不在検出時の制御は、移動検出時・滞在検出時制御アドレスに設定した個別・グループアドレスのOFF制御となるため、個別・グループアドレスの設定は不要です。
※4：レベル1(5 lx相当)～レベル9(1000 lx相当)の対応照度に関しては、画像センサ用ワイヤレスアドレス設定器に付属の取扱説明書の「保持時間・明るさ編集/設定方法」を参照してください。
※5：明るさに関係なく動作します。

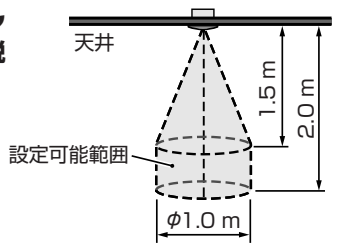
設定方法

●設定はWRT9530画像センサ用ワイヤレスアドレス設定器(別売)で行ってください。詳細は、画像センサ用ワイヤレスアドレス設定器の取扱説明書を参照してください。

※センサから50 cm以下の距離では、正しく設定できないことがあります。

画像センサ用ワイヤレスアドレス設定器の確認・操作可能範囲

●設定可能範囲



設定できる内容

●次のような設定ができます。

- ●アドレス設定
- ●保持時間・明るさ設定
- ●検知エリア設定(簡易)
- ●検知エリア設定(詳細)
- ●連動設定

設定例

●下記は、**「アドレス設定」「検知エリア設定(簡易)」**の設定例を示します。
その他の設定方法につきましては、画像センサ用ワイヤレスアドレス設定器に付属の取扱説明書を参照してください。

■アドレスの編集／設定方法

※移動検出時・滞在検出時・不在検出時制御アドレスについて

- ●個別・Gアドレスと Pアドレスを混在して設定することはできません。
- ●Pアドレスを設定する場合は、設定制約はありません。
- ●不在検出時制御アドレスには、個別・Gアドレスを設定することはできません。
- ●個別・Gアドレスを設定する場合は、右表の制御になります。

	設定	制御
移動	個別・G	ON
滞在	―	ON
不在	設定不可	OFF

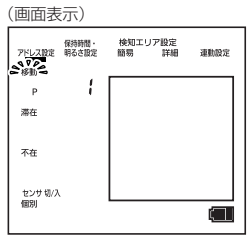
	設定	制御
移動	―	OFF
滞在	個別・G	ON
不在	設定不可	OFF

	設定	制御
移動	個別・G①	①ON ②OFF
滞在	個別・G②	①ON ②ON
不在	設定不可	①OFF ②OFF

下記、画面表示例は、移動検出時制御アドレス：P1
滞在検出時制御アドレス：P2
不在検出時制御アドレス：P3
センサ切／入アドレス：個別63-4 の設定例です。

1 画像センサの現在の「種別・アドレスNo.」を確認する。

(画面表示)



「画像センサ用ワイヤレスアドレス設定器の取扱説明書の「アドレスの確認方法」の手順 1 ～ 3 を行う。」
●現在の設定状態が表示されます。

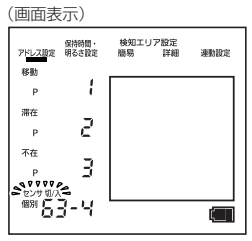
2 移動検出時制御アドレスを設定する。

2-1 種別を機能設定キー(「個別」、「G」、「P」)より入力する。
(右図の場合は「P」を押す。)

2-2 テンキーで、アドレスを入力する。(右図の場合は「1」を押す。)

2-3 改行キーを押し、滞在検出時アドレスの入力へ移る。

(画面表示)



3 滞在検出時制御アドレス、不在検出時制御アドレス、センサ切／入アドレスを順次設定する。

2 と同じ要領でアドレスを入力する。
●センサ切/入アドレスは個別アドレスのみの入力です。
また、他のT/Uのアドレスと重複しないよう設定してください。

4 画像センサに向けて設定キーを押す。(短押し)

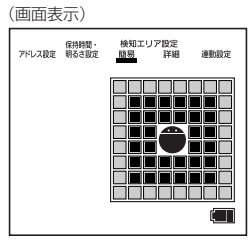
●ピー音が鳴り、設定完了となります。
●エラー音(ピピピ音)が鳴ったとき、またはエラーが表示されたとき(ピピピピピ音が鳴る。)は画像センサ用ワイヤレスアドレス設定器の取扱説明書の「異常時の対処方法について」を参照してください。

(画面表示)

■検知エリア設定(簡易)の編集／設定方法

1 画像センサの現在の「検知エリア設定(簡易)」を確認する。

(画面表示)



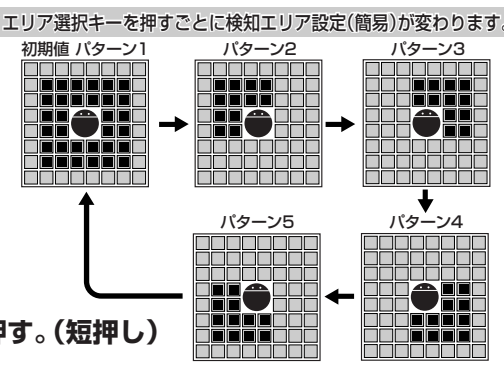
「画像センサ用ワイヤレスアドレス設定器の取扱説明書の「検知エリア設定(簡易)の確認方法」の手順 1 ～ 4 を行う。」
●現在の設定状態が表示されます。
●■、● の部分は有効エリアになります。

2 検知エリア設定(簡易)を設定する。

2-1 エリア選択キーで選択する。

●● は、センサの向きを示します。
取付位置との関係は下図のとおりになります。

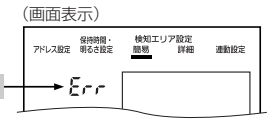
エリア選択キーを押すごとに検知エリア設定(簡易)が変わります。



3 画像センサに向けて設定キーを押す。(短押し)

●ピー音が鳴り、設定完了となります。
●エラー音(ピピピ音)が鳴ったとき、またはエラーが表示されたとき(ピピピピピ音が鳴る。)は画像センサ用ワイヤレスアドレス設定器の取扱説明書の「異常時の対処方法について」を参照してください。

(画面表示)



施工後の確認

施工後は下記の手順で動作範囲を確認してください。

1 設定器の点検キーを押すと、センサが点検動作状態になります。

2 検知範囲の外から検知させたいところに近づき、検知表示／アドレス設定受信表示用LEDの点滅を確かめてください。
※点検動作中は、画像センサの不在時保持時間・移動開始保持時間が0秒、完全静止時保持時間が10秒になります。
※点検動作状態は、設定器の点検キーを押すか、30分経過すると解除されます。

■センサの検知表示/アドレス設定受信表示用LEDの表示について

	通常時	点検時
移動	点滅(4回／1秒)	
滞在	点滅(1回／2秒) ※	
不在	消灯	点灯

※連動設定の場合、センサ1以外の検知表示／アドレス設定受信表示用LEDの表示は、点滅(2回／2秒)となります。

パナソニック株式会社　システム機器ビジネスユニット
〒514-8555 三重県津市藤方1668番地　電話 0120-283338　FAX 0120-551626

© Panasonic Corporation 2013

8A3 H12 00003　S0213-20413A